

野々市市における脱炭素化の取組みについて

令和4年3月


ゼロカーボンシティ宣言

令和6年3月

市カーボンニュートラル推進プラン策定

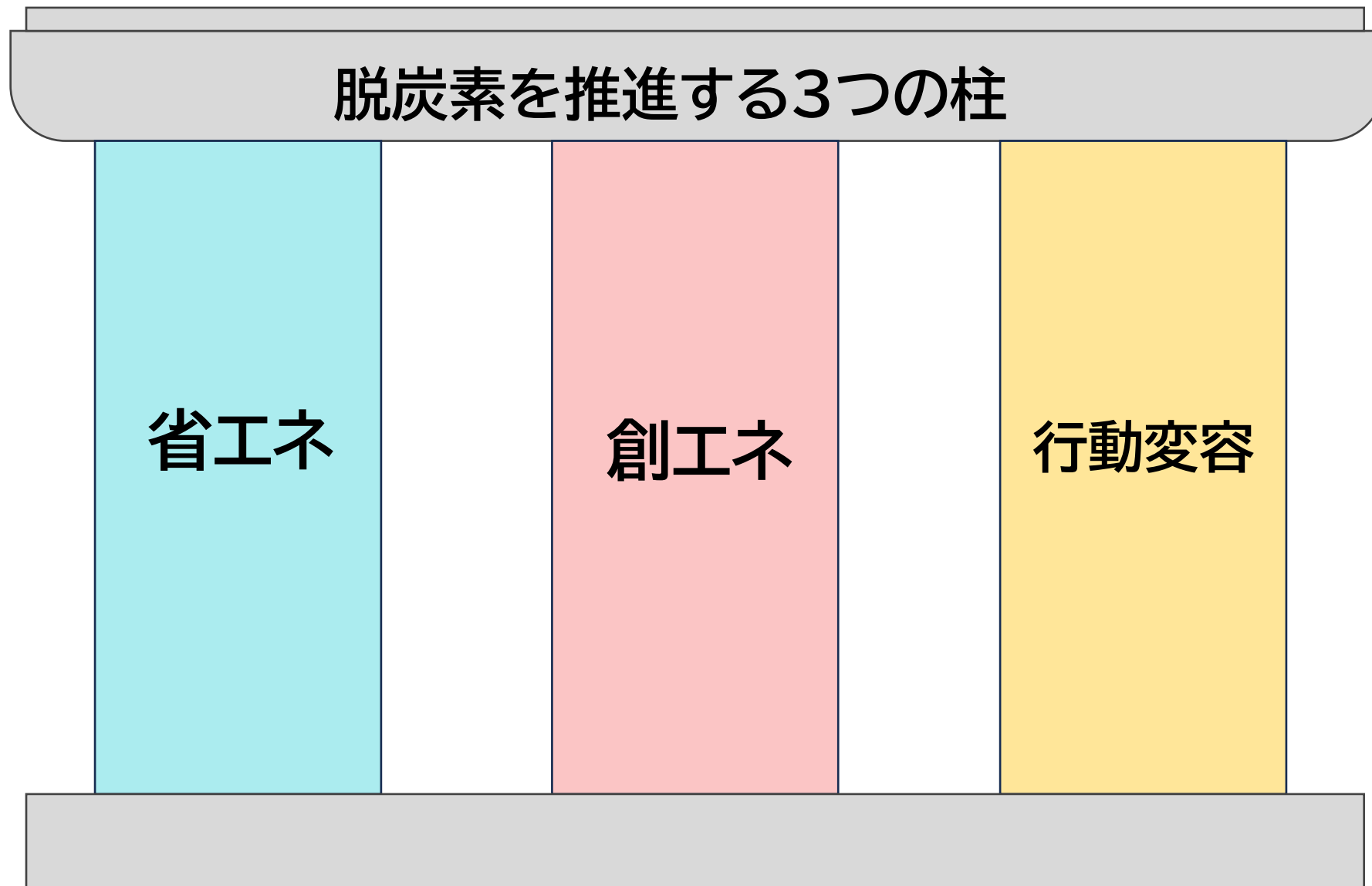
第2次野々市市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

削減目標は？

基準年度	2013 年度 375 千 t- CO ₂		2013-2030 年度で 50%(188 千 t- CO₂)削減
目標年度 (温室効果ガス(二酸化炭素)排出量)	2030 年度 188 千 t- CO ₂		

住民の利便性や生活の質の向上、魅力あふれる区域の実現

- ★楽しく取り組める
- ★無理せず続けられる
- ★市の魅力を再発見できる
- ★災害に強いまちになる
- ★環境だけでなく、健康や節約にも効果がある
- ★ずっと住み続けたいまちになる



省エネ ～二酸化炭素の発生源となるエネルギー消費を抑制する～

■ 公共施設の省エネ化

- ✓ ゼロカーボンシティの実現に向けて、公共施設のLED化改修や、高効率空調への更新を実施
- ✓ 市庁舎省エネルギー化改修事業（空調設備）ではESCOサービスにより、エネルギー削減量を確保するとともに、初期費用を圧縮し、維持管理費用を均等化

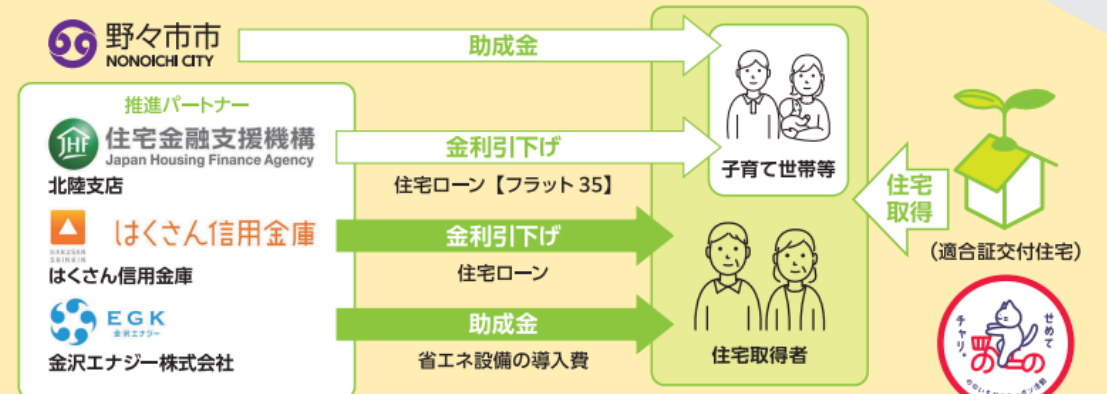


■ 高い省エネ性能を持つ住宅の普及

- ✓ 地球環境（温暖化対策＋災害対策等）に配慮した新築住宅の普及に向け、適合証の交付や子育て世帯等へ助成
- ✓ 金融機関、エネルギー企業からも支援



推進パートナー*が環境に配慮した家づくりを応援！



※「ゼロカーボンシティののいち推進パートナー制度」
カーボンニュートラルの実現に向けて取り組む事業者や団体の皆さんを本市のパートナーとして登録する制度

創エネ ～二酸化炭素を排出しないエネルギーを創出する～

■ 公共施設へのゼロカーボン電気の供給

- ✓ ごみ処理施設でのバイオマス発電によって
作られたゼロカーボン電気を公共施設に供給
(白山野々市広域事務組合管内での連携事業)
- ✓ 令和6年度は16施設に供給し、
年間2,060t/CO₂を削減
公共施設における排出量の約4割に相当



松任石川環境クリーンセンター

■ 事業者向け太陽光発電設備の導入促進

- ✓ 事業者向けに太陽光発電設備等の導入費用に対する
補助制度を創設
- ✓ 石川中央都市圏における連携事業で集中的な
脱炭素施策の実施



太陽光発電と蓄電池で
カーボンニュートラルと
防災対策を!

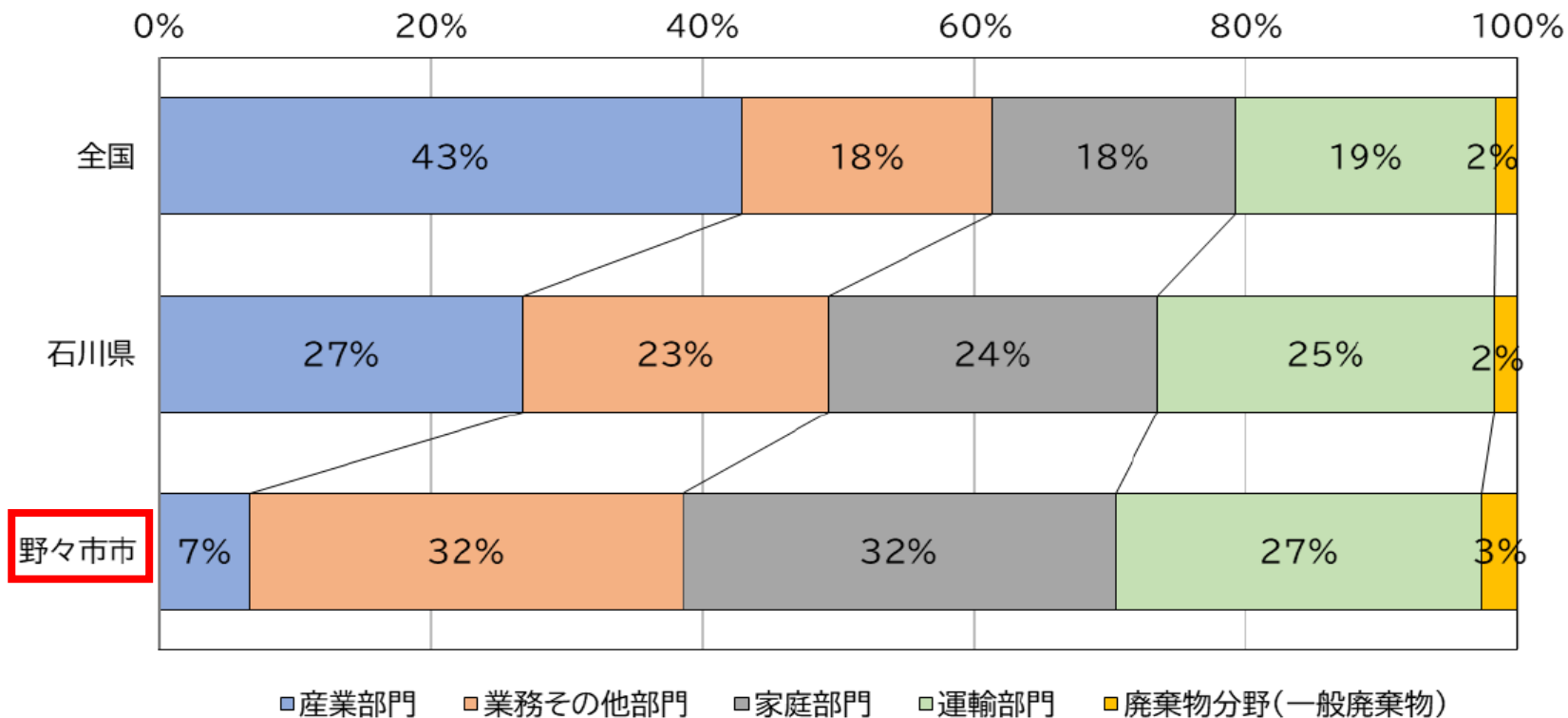


行動変容 ～カーボンニュートラルに向けた選択を積極的に行う～

ポイント

市民や事業者への積極的な働きかけにより、行動変容を促していくことが重要！

二酸化炭素排出の状況



県や全国との排出量比較では、

産業部門の割合が**小さく**

業務その他、

家庭部門の割合が**大きい**

行動変容① ～カーボンニュートラルに向けた選択を積極的に行う～

■ 家庭用生ごみ処理機の普及促進

- ✓ 脱炭素型ライフスタイルへの転換を促すため、家庭用生ごみ処理機等の購入費用に対し補助金を交付
- ✓ コンポストに関するワークショップ等を併せて開催することで、より一層、市民への浸透を図る。



■ 県産材の利用促進

- ✓ 森林資源の循環利用を促進するため、県産材を利用した住宅を新築（建売含む）または増改築をした方に対して補助金を交付

ののいち
木の
ぬくもり住宅



行動変容② ～カーボンニュートラルに向けた選択を積極的に行う～

■ゼロカーボンシティ推進ロゴマーク、推進キャラクターを活用した啓発



決定したロゴマークとキャラクター白猫「ののさん」

キャラクターのバリエーションも作成
グッズ制作やイベントなどで活用



キャラクターグッズの制作



公用車(EV)への掲示

行動変容③ ～カーボンニュートラルに向けた選択を積極的に行う～

■ゼロカーボンシティののいち推進パートナー制度

✓ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組む事業者・団体を市のパートナーとして登録、取組の輪を市域全体に広げる。

✓パートナー登録数

12事業者・団体（令和7年10月10日現在）


✓ゼロカーボンシティ実現に向けた取組の例

- ・省エネ型機器や省エネ設備の導入
- ・ごみの減量や食品ロス削減の推進
- ・脱炭素につながるサービス・商品の提供
- ・市民を対象とした環境教育の実施 など

パートナー登録の要件は幅広く設定

～ 広げる 広がる ゼロカーボンシティ推進の輪 ～

ゼロカーボンシティののいち推進パートナー募集




野々市市は、気候変動の主な原因である二酸化炭素排出量を 2050 年までに実質ゼロにすることをめざし、令和4年3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。
ゼロカーボンシティの実現に向けてともに取り組む事業者や団体の皆さんをパートナーとして登録し、取組の輪を機重にも広げ、市域全体でゼロカーボンシティの実現をめざします。

対象者
推進パートナー登録の対象者は、次の全ての要件に該当する事業者・団体等とします。
(1) 野々市市におけるゼロカーボンシティの実現につながる取組を実施していること。
または、推進パートナー登録の決定から1年以内に実施する予定であること。
(2) 市内に事業所又は活動拠点を有すること。
(※)市外からの申請を希望される場合はご相談ください。
(3) 野々市市暴力団排除条例に規定する暴力団又は暴力団員及びこれらと密接な関係を有するものでないこと。
(4) 特定の政治、思想、宗教等の啓発を登録の目的としていないこと。
(5) その他推進パートナーとして登録することが適当でないと市長が認める事実がないこと。

ゼロカーボンシティ実現に向けた取組の例


- ・太陽光発電設備の導入
- ・省エネ型機器や省エネ設備の導入
- ・ごみの減量や食品ロス削減の推進
- ・脱炭素につながるサービス・商品の提供
- ・市民を対象とした環境教育の実施 など



推進パートナー登録のメリット

- ・ゼロカーボンシティののいち推進パートナー登録証を交付します。
- ・野々市市のホームページ等で事業者や団体の取組を紹介します。
- ・推進パートナーが実施する事業を PR する等、市が支援します。
- ・ゼロカーボンシティののいち推進ロゴマークをご使用いただけます。

☞ゼロカーボンシティののいちの実現に向けた取組は、SDGs の目標達成にもつながります。



【事務局】野々市市地域政策部市民生活課
野々市市三納一丁目1番地
TEL: (076) 227-6052 FAX: (076) 227-6251 MAIL: shimin@city.nonoichi.lg.jp

行動変容④ ～カーボンニュートラルに向けた選択を積極的に行う～

■ 「すてる油で空を飛ぼう」プロジェクトへの参画

サフ

- ✓ 家庭から出る廃食油を回収し、**SAF**（持続可能な航空燃料）の原料とする取組み
- ✓ 回収場所は市内の食品スーパー 2 店舗（どんたく野々市中央公園店、プララAコープ富奥店）

- ✓ 店舗で回収できる廃食油は
 - ・ 家庭から出るもの
 - ・ 常温で液体の植物性油

SAF = Sustainable Aviation Fuel
「持続可能な航空燃料」の略



画像提供：日本航空株式会社

ご清聴ありがとうございました

